

第3回 新型コロナウィルスに関する生活者調査(2020年6月)

緊急事態宣言解除後の「生活自由度」は57.0点 前月から約6ポイント上昇 健康や経済への【不安】は減少、外食や買い物の【行動抑制】も減少 生活者の行動は緩やかに「家から外へ」とシフト

株式会社博報堂(本社・東京)のシンクタンク博報堂生活総合研究所は2020年6月、新型コロナウィルスの感染が拡大している昨今の生活者意識や行動について「新型コロナウィルスに関する生活者調査」を実施いたしました(調査実施は6月4~8日、対象は首都圏・名古屋圏・阪神圏の20~69歳の男女1,500名、一部調査項目については3月より実施 調査概要は9ページ参照)。

感染拡大以前の普段の状態を100点としたとき、現在の状況下における「生活自由度」が何点くらいかをきいたところ、57.0点となりました。5月25日付で政府による緊急事態宣言が解除されたこともあり、5月調査の数値から5.9ポイント上昇しています。

また新型コロナウィルス感染拡大に伴う不安や、抑制している行動、変化している行動など41項目について尋ねたところ、【不安度】については「経済の停滞に不安を感じる」(83.0%)など、高い水準にはあるものの、5月調査から減少しています。【行動抑制度】は「外食を控えている」(83.8%)をはじめ多くの項目で5月から一転して減少。【行動変化度】の増減はまちまちで「外出を控え、家の中でできる娯楽を楽しんでいる」(77.3%)が減少する一方、「人が密集しない屋外でのレジャーを楽しんでいる」(38.9%)が増加しています。

以上の変化からは、不安の減少と共に行動抑制も若干緩み、生活者の行動が「家から外へ」と緩やかにシフトしていることがうかがえます。

本調査は当面の期間実施し、毎月第3・4週頃に発表する予定です(今後の状況変化により、調査内容等を変更する可能性があります)。

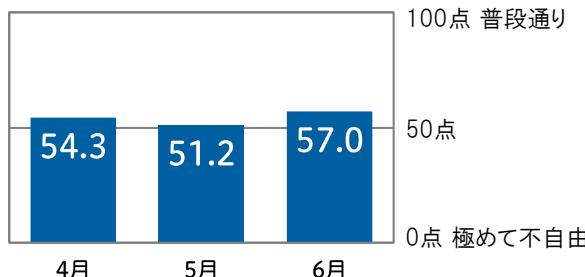
新型コロナウィルス影響下での「生活自由度」

【質問文】新型コロナウィルス感染拡大以前の普段の状態を100点、感染拡大により極めて不自由を強いられる状態を0点とすると、あなたの現在の暮らしの自由度は何点くらいでしょうか?

普段通りの暮らしを100点とすると
現在の生活自由度は

57.0点

前月差 +5.9pt



※数値は小数第2位まで集計していますが、本レポートでは小数第1位まで(小数第2位を四捨五入)を表示しているため、点数差は見た目の数値と異なる場合があります。

新型コロナウィルス影響下での意識・行動【一部抜粋】

【質問文】新型コロナウィルス感染拡大を受け、次のような意見があります。それぞれについて、あなた自身のお気持ちや行動にもっとも近いものをひとつずつお答えください。(単一回答:あてはまる/ややあてはまる/あまりあてはまらない/あてはまらない)

「あてはまる」「ややあてはまる」回答率
※()内は前月差

不安度

経済の停滞に不安を感じる 83.0% (- 7.2pt)

自分や家族の健康に不安を感じる 67.9% (- 6.0pt)

行動抑制度

外食を控えている 83.8% (- 7.2pt)

不要不急の買い物を控えている 83.6% (- 7.0pt)

行動変化度

外出を控え、家の中でできる娯楽を楽しんでいる 77.3% (- 9.6pt)

人が密集しない屋外でのレジャーを楽しんでいる 38.9% (+ 6.4pt)

新型コロナウィルス収束後の行動意向【一部抜粋】

【質問文】今後、新型コロナウィルス感染への懸念がなくなったとしても、あなたは次にあげるような行動をすると思いますか。

(参考)

それぞれについて、あなたご自身の予想にもっとも近いものをひとつずつお答えください。

【収束後の行動意向】

(単一回答:すると思う/時々すると思う/あまりしないと思う/しないと思う)

【現在の行動実態】

「すると思う」「あてはまる」

「時々すると思う」回答率 「ややあてはまる」回答率

衛生・健康関連行動

マスク着用や手洗いなど、感染対策を徹底する 85.8% 93.2%

握手やハグなど、人とのボディタッチを控える 72.4% 82.0%

オンライン関連行動

できるだけテレワークをする ※有職者のみ(n=1,052) 32.7% 36.7%

オンラインで飲み会や食事会をする 21.2% 21.3%

補足資料① 新型コロナウイルス影響下での「生活自由度」

「生活自由度」は5月から大幅上昇

- ・新型コロナウイルス影響下での「生活自由度」について、感染拡大以前の普段の状態を100点としたとき、全体では57.0点となり、5月から5.9ポイント上昇しました。5月25日に政府の緊急事態宣言が解除されたことが、自由度の上昇に影響しているそうです。性別/年代別/エリア別でも全セグメントが上昇していますが、首都圏の数値が55.0点と若干低い数値になっています。

「生活自由度」高い理由は、「人に会わずに済むから?」

- ・自由回答で「生活自由度」の回答理由を聴取したところ、比較的点数の高い人からは、「人と付き合いが減ったり距離を保てたりすることがむしろ好ましい」との声が目立ちました。一方で点数の低い人からは、「仕事や収入の減少、外出時の様々な制限や気遣いストレス、夏場になってマスクがつらを感じるなどの声が多く見られました。

■ 性別/年代別/エリア別の結果

※()内は調査人数		スコア			差分	
		2020年4月調査 (点)	2020年5月調査 (点)	2020年6月調査 (点)	4月→5月 pt	5月→6月 pt
全体	(1500)	54.3	51.2	57.0	-3.1	+5.9
男性	(755)	55.3	50.3	57.1	-5.0	+6.8
女性	(745)	53.2	52.1	56.9	-1.2	+4.9
20代	(241)	53.3	49.4	57.7	-3.9	+8.3
30代	(286)	52.7	51.0	56.6	-1.7	+5.6
40代	(375)	52.8	52.0	56.1	-0.8	+4.1
50代	(319)	55.2	50.8	56.9	-4.5	+6.1
60代	(279)	57.6	52.2	58.3	-5.5	+6.1
首都40km圏	(500)	52.0	50.5	55.0	-1.5	+4.4
名古屋40km圏	(500)	57.9	52.1	57.5	-5.8	+5.3
阪神30km圏	(500)	52.9	50.9	58.7	-2.0	+7.8

■ 生活自由度の高・中・低割合

高中低割合				
		高 (61点以上) (%)	中 (41~60点) (%)	低 (40点以下) (%)
全体	(1500)	39.3	37.5	23.1
男性	(755)	39.6	35.8	24.6
女性	(745)	39.1	39.3	21.6
20代	(241)	41.1	34.0	24.9
30代	(286)	36.7	39.2	24.1
40代	(375)	37.6	41.3	21.1
50代	(319)	42.0	32.6	25.4
60代	(279)	39.8	39.4	20.8
首都40km圏	(500)	36.6	36.4	27.0
名古屋40km圏	(500)	39.4	38.8	21.8
阪神30km圏	(500)	42.0	37.4	20.6

■ 5pt以上の増加

■ 10pt以上の増加

■ 5pt以上の減少

■ 10pt以上の減少

※数値は小数第2位まで集計していますが、本レポートでは小数第1位まで(小数第2位を四捨五入)を表示しているため、点数差は見た目の数値と異なる場合があります。

■ 生活自由度の回答理由(自由回答から一部を掲載)

生活自由度	高 (61点以上)	専業主婦で夫も普通に通勤を強いられているので、子供が学校に行かないくらいでほとんど生活に変化はない。家族で家でのんびりもたまには良いと思った。あまり人に会うのも好きではないので、学校の保護者会などが開かれないのはとてもうれしかった。	98点	女性45歳・埼玉県
		不自由を強いられる生活は特に苦にはならず、仕事の量も減り家にいる時間も増えて、むしろ快適に過ごしている。	90点	男性49歳・愛知県
		美容院に行くことを控えているので10点引き。しかし法事も夫の甥姪の結婚式も、行きたくない集会も、コロナのおかげでないので嬉しい。買い物物中いつも話しこんでくる嫌いなオバハンと会っても、会釈だけですれ違える。	90点	女性60歳・大阪府
		直接人に会う機会は減ったが、オンラインで参加できるイベントに積極的に参加できるようになったため、日常生活は充実している。そもそも人と会話することにあまりプライオリティを感じていない。	80点	男性27歳・東京都
		徐々に元の生活に戻りつつあり、後は府県を跨いでの活動が自由にできればそれで良いかなと。他人との距離を取ったり、大声で話したりしない等の感染対策は、自分にとっては快適に感じる。	70点	女性60歳・大阪府
	中 (41~60点)	今の就業形態に不安があるので転職しようと思うが、求人が減ってしまうかもしれない。婚活したくても対面での新しい出会いがなくなつた。県境に住んでいても、県をまたいで移動できない。	60点	女性35歳・愛知県
		もともとあまり外に出る方ではなかったのでそれほど困ってはいないが、必ずマスクをしなければならず、外食も遠慮しなければいけないよな世間の目が鬱陶しい。	60点	男性63歳・東京都
		世間は自粛解除になって、日常が戻り始めているかもしれないが、もう以前のように気軽に人が多い場所に行こうとは思えなくなっているから。まだ越県ができないので地元に帰れないでの。	60点	女性40歳・大阪府
		在宅推奨で出勤時間がなくなった分、家族との時間やプライベート時間の充実が図れる一方、収入については下降しているため、金銭面で以前のような生活バランスがとれなくなっている。	50点	男性36歳・神奈川県
		オンライン授業になりアルバイトの収入も減ったが、家で過ごすことが多くなり自由な時間が増えた。	50点	女性20歳・愛知県
	低 (40点以下)	夏に近づくにつれ、とにかくマスクが辛い。日々暑がりで汗かきだが、マスクしてから体調崩してしまいう。	30点	男性53歳・大阪府
		複数の家族がテレワークをしているためリビングも使用。普段であれば見ることのできる時間のテレビすら見れず、掃除機をかけたり、家事をするのにもいちいち気を遣う。通信環境も完全ではないので、電子レンジ一つ使うのも時間を気にする。	30点	女性64歳・神奈川県
		コロナが怖くて服屋や、美容院に行けない。妊娠しても夫の付き添い禁止、母親教室中止、立ち合い出産禁止、入院中の面会も禁止、定期にどこかに行くこともできず不満しかない。	10点	女性34歳・愛知県
		仕事したくても仕事が激減。お金がないと何もできない。	10点	男性35歳・大阪府
		どこにも行けないし、行ってもマスクと消毒をしないといけない。接客業なので毎日感染のリスクがあるし、仕事中のマスクやゴーグルの着用は本当に不快。	0点	女性27歳・岐阜県

補足資料② 新型コロナウイルス影響下での意識・行動

【不安度】は5月からさらに後退、【行動抑制度】も減少に転じる

- ・6月の【不安度】指標は全体的に減少。「人づきあいの変化に不安を感じる」以外の項目は4月がピークとなって段階的に減少しています。
- ・【行動抑制度】は継続的に聴取している項目はすべて減少しましたが、最も高い「不要不急の外出を控えている」(88.9%)を筆頭に8割台の高さを保っています。

生活者の行動は「家から外へ」と緩やかにシフト

- ・【行動変化度】指標は増減まちまち。「外出を控え、家の中でできる娯楽を楽しんでいる」は5月から9.6ポイント減の77.3%、「外出を控え、インターネット通販や出前を利用するようになっている」は8.4ポイント減の51.1%。一方で「人が密集しない屋外でのレジャーを楽しんでいる」は6.4ポイント増の38.9%となるなど、生活者の行動が少しずつ「家から外へ」とシフトしている様子がうかがえます。

■ 時系列推移(全体ベース・2020年3-6月)

※「あてはまる」「ややあてはまる」回答率
()内は調査人数

		スコア				差分		
		3月調査 (1500)	4月調査 (1500)	5月調査 (1500)	6月調査 (1500)	3月→4月 pt	4月→5月 pt	5月→6月 pt
不安度	経済の停滞に不安を感じる	83.2	91.2	90.2	83.0	+8.0	-1.0	-7.2
	行政の対応に不安を感じる	---	86.9	81.1	77.4	---	-5.8	-3.7
	海外の情勢に不安を感じる	---	83.5	78.5	74.7	---	-5.0	-3.8
	自分や家族の健康に不安を感じる	70.7	78.2	73.9	67.9	+7.5	-4.3	-6.0
	情報の不足や不確かさに不安を感じる	74.1	82.3	77.9	67.9	+8.2	-4.4	-10.0
	自分や家族の仕事・収入に不安を感じる	58.1	69.6	63.9	61.9	+11.5	-5.7	-2.0
行動抑制度	人づきあいの変化に不安を感じる	---	---	44.6	44.7	---	---	+0.1
	不要不急の外出を控えている	72.5	89.3	94.2	88.9	+16.8	+4.9	-5.3
	旅行・レジャーを控えている	69.1	88.7	92.9	88.8	+19.6	+4.2	-4.1
	体験型エンターテインメント(ライブ・観劇・映画鑑賞など)を控えている	---	86.7	91.0	85.4	---	+4.3	-5.6
	交友・交際を控えている	59.9	85.1	89.7	84.5	+25.2	+4.6	-5.2
	外食を控えている	61.1	82.7	91.0	83.8	+21.6	+8.3	-7.2
	不要不急の買い物を控えている	64.5	84.2	90.6	83.6	+19.7	+6.4	-7.0
行動変化度	握手やハグなど、とのボディタッチを控えている	---	---	---	82.0	---	---	---
	マスク着用や手洗いなど、感染対策を徹底するようにしている	84.1	90.8	95.6	93.2	+6.7	+4.8	-2.4
	外出を控え、家の中でできる娯楽を楽しんでいる	58.7	74.6	86.9	77.3	+15.9	+12.3	-9.6
	十分な運動・栄養・睡眠をとるようにしている	---	79.5	79.5	77.0	---	±0	-2.5
	感染対策商品や日用品の備蓄をするようにしている	50.7	60.5	67.1	67.3	+9.8	+6.6	+0.2
	できるだけキャッシュレスで支払うようにしている	---	---	---	62.6	---	---	---
	家にいる時間が増えたので、なるべく自分で料理をするようにしている	---	---	65.1	59.9	---	---	-5.2
	公共交通機関の利用を控え、自家用車で移動するようにしている	---	46.9	57.0	52.8	---	+10.1	-4.2
	家にいる時間が増えたので、家のなかでできる運動をするようにしている	---	---	55.9	52.1	---	---	-3.8
	外出を控え、インターネット通販や出前を利用するようにしている	24.7	38.9	59.5	51.1	+14.2	+20.6	-8.4
	家にいる時間が増えたので、スマートフォンやパソコンなどのゲームを利用している	---	49.3	55.3	48.4	---	+6.0	-6.9
	家にいる時間が増えたので、動画や音楽などのストリーミングサービスを利用している	---	44.7	50.9	46.5	---	+6.2	-4.4
	人が密集しない屋外で運動をするようにしている	---	---	45.3	43.3	---	---	-2.0
	できるだけ時差通勤・時差通学をするようにしている	25.5	34.4	43.0	42.5	+8.9	+8.6	-0.5
	家にいる時間が増えたので、SNSの閲覧・投稿をしている	---	35.0	42.3	40.5	---	+7.3	-1.8
	人が密集しない屋外でのレジャーを楽しんでいる	---	38.2	32.5	38.9	---	-5.7	+6.4
	できるだけテレワーク(在宅勤務)をするようにしている[有職者ベース]	18.2	23.5	41.3	36.7	+5.3	+17.8	-4.6
	家にいる時間が増えたので、モノを作りしている(手芸、リフォーム、DIYなど)	---	---	31.2	31.5	---	---	+0.3
	家にいる時間が増えたので、通信環境の整備や家電の購入など、家のなかの環境を充実させている	---	21.6	22.9	26.9	---	+1.3	+4.0
	収入が減ったもしくは減りそうなので、副業を始めた/検討している	---	14.9	23.9	26.8	---	+9.0	+2.9
	外でお金を使わないぶん、普段より少し良いものを買うようにしている	---	---	20.9	22.7	---	---	+1.8
	収入が減ったもしくは減りそうなので、就職・転職・起業をした/検討している	---	---	18.1	22.3	---	---	+4.2
	家にいる時間が増えたので、投資や資産運用をしている	---	16.3	17.7	21.9	---	+1.4	+4.2
	家にいる時間が増えたので、オンラインで飲み会や食事会をしている	---	---	18.6	21.3	---	---	+2.7
	家にいる時間が増えたので、フリマアプリ・ネットオークションで出品・販売をしている	---	18.3	19.1	21.1	---	+0.8	+2.0
	家にいる時間が増えたので、フリマアプリ・ネットオークションで購入をしている	---	17.6	19.5	20.3	---	+1.9	+0.8
	通常通りの活動ができるお店・団体を支援するようにしている	---	---	19.7	20.3	---	---	+0.6
	家にいる時間が増えたので、オンライン学習をしている	---	14.3	18.9	18.6	---	+4.6	-0.3

[有職者ベース]
3月:1,042人
4月:1,051人
5月:1,074人
6月:1,052人

5pt以上の増加
10pt以上の増加
5pt以上の減少
10pt以上の減少

(%)

(pt)

補足資料③ 新型コロナウイルス影響下での意識・行動

【不安度】【行動抑制度】は全項目で「女性>男性」に

- ・6月は【不安度】【行動抑制度】の全項目で女性が男性を上回りました。
- ・特に「自分や家族の健康に不安を感じる」は女性75.0%、男性60.8%と14.2ポイントの開き。【不安度】の差が【行動抑制度】の差にもつながっていると考えられ、男女別でみると、女性がやや慎重に考え、行動している様子がうかがえます。

【行動変化度】は年代差とエリア差が目立つ

- ・【行動変化度】では、「家にいる時間が増えたので、オンライン飲み会や食事をしている」で20代42.3%に対して60代で11.1%となるなど、インターネットを利用した行動に関する項目で年代差が大きくなっています。東名阪のエリア別では「公共交通機関の利用を控え、自家用車で移動するようにしている」「テレワークをするようにしている」などの項目で、比較的差が大きくなっています。

■ 性別/年代別/エリア別結果

※「あてはまる」「やあてはまる」回答率
()内は調査人数

			性別		年代					エリア			
			全体		男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代	首都40km圏	名古屋40km圏
			(1500)	(755)	(745)		(241)	(286)	(375)	(319)	(279)	(500)	(500)
不安度	経済の停滞に不安を感じる		83.0	80.4	85.6	76.3	81.5	85.1	85.6	84.6	85.2	82.8	81.0
	行政の対応に不安を感じる		77.4	73.2	81.6	75.1	74.5	77.6	78.7	80.6	78.0	75.8	78.4
	海外の情勢に不安を感じる		74.7	71.0	78.5	70.1	71.3	73.6	78.4	79.6	76.6	75.0	72.6
	自分や家族の健康に不安を感じる		67.9	60.8	75.0	70.1	65.7	65.9	66.1	72.8	70.4	67.2	66.0
	情報の不足や不確かな不安を感じる		67.9	61.7	74.2	71.8	68.2	68.5	64.9	67.0	71.0	65.8	67.0
	自分や家族の仕事・収入に不安を感じる		61.9	61.5	62.4	66.8	69.2	62.7	63.6	47.3	63.2	62.4	60.2
	人づきあいの変化に不安を感じる		44.7	43.7	45.8	46.1	48.3	42.7	43.3	44.4	46.4	44.8	43.0
行動抑制度	不要不急の外出を控えている		88.9	85.2	92.6	87.6	88.5	89.1	88.4	90.7	91.0	88.8	86.8
	旅行・レジャーを控えている		88.8	84.9	92.8	88.0	88.1	90.9	87.8	88.5	92.6	87.4	86.4
	体験型エンターテインメント(ライブ・観劇・映画鑑賞など)を控えている		85.4	80.7	90.2	87.6	84.3	86.7	85.9	82.4	89.2	82.6	84.4
	交友・交際を控えている		84.5	78.7	90.3	81.7	81.5	88.3	83.1	86.4	87.6	83.0	82.8
	外食を控えている		83.8	78.3	89.4	83.4	79.0	86.1	82.4	87.5	87.8	81.6	82.0
	不要不急の買い物を控えている		83.6	79.2	88.1	80.1	81.1	86.4	83.7	85.3	88.2	82.6	80.0
	握手やハグなど、人とのボディタッチを控えている		82.0	78.1	85.9	82.6	77.6	82.4	83.7	83.5	83.6	80.2	82.2
行動変化度	マスク着用や手洗いなど、感染対策を徹底するようにしている		93.2	90.5	96.0	91.7	89.5	94.1	95.0	95.0	95.8	91.6	92.2
	外出を控え、家の中でできる娯楽を楽しんでいる		77.3	72.2	82.4	85.1	79.0	78.9	74.3	69.9	79.2	76.0	76.6
	十分な運動・栄養・睡眠をとるようにしている		77.0	73.9	80.1	73.9	75.2	77.1	78.7	79.6	78.4	77.2	75.4
	感染対策商品や日用品の備蓄をするようにしている		67.3	64.4	70.2	63.5	65.7	68.8	69.3	67.7	67.8	67.8	66.2
	できるだけキャッシュレスで支払うようにしている		62.6	61.2	64.0	58.1	61.5	61.6	69.3	61.3	67.8	60.8	59.2
	家にいる時間が増えたので、なるべく自分で料理をするようにしている		59.9	43.3	76.8	65.6	63.3	58.1	57.7	56.6	64.2	57.4	58.2
	公共交通機関の利用を控え、自家用車で移動するようにしている		52.8	51.4	54.2	50.2	51.7	53.3	53.6	54.5	44.0	68.8	45.6
	家にいる時間が増えたので、家のなかでできる運動をするようにしている		52.1	48.3	55.8	61.8	53.5	50.9	45.1	51.6	56.8	51.6	47.8
	外出を控え、インターネット通販や出前を利用するようにしている		51.1	47.4	54.9	59.8	57.0	50.4	48.9	41.2	56.0	49.2	48.2
	家にいる時間が増えたので、スマートフォンやパソコンなどのゲームを利用している		48.4	47.7	49.1	69.3	59.4	48.0	37.0	32.6	48.4	50.8	46.0
	家にいる時間が増えたので、動画や音楽などのストリーミングサービスを利用している		46.5	49.0	43.9	71.0	53.8	40.3	41.1	32.3	52.2	44.8	42.4
	人が密集しない屋外で運動をするようにしている		43.3	47.5	38.9	49.4	45.5	41.3	40.1	41.9	44.4	45.0	40.4
	できるだけ時差通勤・時差通学をするようにしている		42.5	43.7	41.2	48.1	42.0	44.0	40.8	38.0	49.6	36.2	41.6
	家にいる時間が増えたので、SNSの閲覧・投稿をしている		40.5	37.6	43.4	71.0	49.0	35.7	30.7	22.9	42.4	40.2	38.8
	人が密集しない屋外でのレジャーを楽しんでいる		38.9	41.9	35.8	46.5	47.2	36.0	34.2	33.0	35.4	44.2	37.0
	できるだけテレワーク(在宅勤務)をするようにしている[有職者ベース]		36.7	39.5	32.5	39.4	39.9	33.7	36.9	34.6	47.8	29.7	31.7
	家にいる時間が増えたので、モノを手作りしている(手芸、リフォーム、DIYなど)		31.5	27.3	35.7	32.4	30.4	32.3	30.7	31.5	32.2	36.0	26.2
	家にいる時間が増えたので、通信環境の整備や家電の購入など、家の中の環境を充実させている		26.9	28.5	25.4	41.9	31.5	25.6	24.1	14.3	31.8	24.4	24.6
	収入が減ったもしくは減りうなので、副業を始めた/検討している		26.8	28.1	25.5	41.9	35.3	24.5	22.9	12.5	29.4	27.4	23.6
	外でお金を使わないぶん、普段よりいい良いものを買うようにしている		22.7	23.4	22.0	29.5	24.1	23.7	19.1	18.3	24.0	22.8	21.4
	収入が減ったもしくは減りうるので、就職・転職・起業をした/検討している		22.3	24.8	19.7	29.9	33.2	20.0	18.2	12.2	25.2	21.8	19.8
	家にいる時間が増えたので、投資や資産運用をしている		21.9	30.7	12.9	27.0	25.5	19.7	21.3	17.2	25.2	23.6	16.8
	家にいる時間が増えたので、オンラインで飲み会や食事をしている		21.3	23.7	18.9	42.3	24.8	16.8	16.6	11.1	25.2	21.6	17.2
	フリマアプリ・ネットオークションで出品・販売をしている		21.1	22.1	20.1	28.2	28.3	20.0	19.4	11.1	22.6	20.2	20.6
	家にいる時間が増えたので、フリマアプリ・ネットオークションで購入をしている		20.3	22.4	18.3	28.6	27.6	18.1	17.6	11.8	21.2	21.6	18.2
	通常通りの活動ができないお店・団体を支援するようにしている		20.3	19.2	21.5	21.6	20.3	21.6	18.8	19.4	23.2	19.2	18.6
	家にいる時間が増えたので、オンライン学習をしている		18.6	21.2	16.0	33.6	20.6	14.7	15.0	12.9	20.6	18.4	16.8

■ 全体より5pt以上高い

■ 全体より10pt以上高い

■ 全体より5pt以上低い

■ 全体より10pt以上低い

(%)

4

補足資料④ 新型コロナウイルス収束後の行動意向

継続意向が高いのは、衛生面・健康面の行動

- 【行動抑制度】【行動変化度】で聴取している項目について、今後、新型コロナウイルス感染への懸念がなくなったとしても行うかどうかきいたところ、「マスク着用や手洗いなど、感染対策を徹底する」(85.8%)、「十分な運動・栄養・睡眠をとる」(83.1%)、「握手やハグなど、人とのボディタッチを控える」(72.4%)など、感染防止のための衛生面・健康面の行動が比較的高くなっています。

オンライン飲み会は継続意向2割、テレワークはエリア差が大きい

- 上記項目に比べて「オンライン学習をする」(24.5%)や「オンラインで飲み会や食事会をする」(21.2%)など、インターネットを利用した行動は比較的低い数値となりました。これらは年代差も大きくなっています。
- また「できるだけテレワークをする」は、首都圏が43.2%に対し、他エリアでは約27%と、エリアの差が比較的大きくなっています。

■ 性別/年代別/エリア別の結果

		性別		年代					エリア														
		全体	(1500)	男性	(755)	女性	(745)	20代	(241)	30代	(286)	40代	(375)	50代	(319)	60代	(279)	首都40km圏	(500)	名古屋40km圏	(500)	阪神30km圏	(500)
行動抑制意向	握手やハグなど、人とのボディタッチを控える	72.4	67.4	77.4	59.8	67.5	77.1	79.9	73.5	74.6	71.6	71.0											
	不要不急の外出を控える	71.1	67.0	75.2	64.3	66.4	74.1	74.0	74.2	73.2	71.6	68.4											
	不要不急の買い物を控える	69.2	64.5	74.0	62.2	63.6	72.0	73.7	72.0	73.4	69.0	65.2											
	体験型エンターテインメント(ライブ・観劇・映画鑑賞など)を控える	64.5	60.5	68.6	55.2	61.5	69.3	68.0	65.2	66.4	64.6	62.6											
	旅行・レジャーを控える	63.6	57.6	69.7	56.8	60.1	68.3	68.0	61.6	66.4	62.8	61.6											
	交友・交際を控える	62.3	57.1	67.5	51.9	58.4	68.3	66.8	62.0	65.8	61.6	59.4											
	外食を控える	62.0	56.6	67.5	54.8	59.1	66.9	63.3	63.1	65.4	60.0	60.6											
行動変化意向	マスク着用や手洗いなど、感染対策を徹底する	85.8	81.7	89.9	81.7	82.9	87.5	88.4	87.1	86.2	85.6	85.6											
	十分な運動・栄養・睡眠をとる	83.1	79.7	86.6	77.6	81.1	84.3	84.3	87.1	85.2	82.0	82.2											
	感染対策商品や日用品の備蓄をする	72.3	66.5	78.3	72.6	71.0	74.7	71.2	71.7	73.8	74.4	68.8											
	できるだけキャッシュレスで支払う	66.3	64.8	67.8	60.6	62.6	69.9	70.5	65.2	71.2	66.0	61.6											
	なるべく自分で料理をする	64.4	44.9	84.2	67.2	65.0	64.8	60.5	65.2	67.4	60.6	65.2											
	外出を控え、家の中でできる娯楽を楽しむ	63.9	56.8	71.0	68.9	65.4	64.3	62.7	58.8	65.8	63.2	62.6											
	家中でできる運動をする	55.3	47.2	63.5	57.7	56.3	56.0	50.2	57.0	57.8	53.8	54.2											
	人が密集しない屋外でのレジャーを楽しむ	53.1	50.1	56.1	53.5	56.6	52.8	50.8	52.0	53.8	55.8	49.6											
	人が密集しない屋外で運動をする	50.2	49.3	51.1	53.1	52.8	49.1	42.6	55.2	50.8	52.4	47.4											
	公共交通機関の利用を控え、自家用車で移動する	50.1	47.5	52.8	45.6	51.4	50.9	52.0	49.5	39.8	65.8	44.8											
	動画や音楽などのストリーミングサービスを利用する	48.7	50.3	47.0	70.5	53.5	45.3	43.9	34.8	53.4	48.0	44.6											
	SNSの閲覧・投稿をする	48.0	42.6	53.4	73.0	59.1	45.9	37.3	30.1	48.8	48.6	46.6											
	スマートフォンやパソコンなどのゲームを利用する	47.8	45.4	50.2	65.6	59.4	48.5	35.7	33.3	48.8	49.6	45.0											
	外出を控え、インターネット通販や出前を利用する	47.1	43.0	51.3	46.9	52.4	50.9	43.6	40.9	50.4	47.2	43.8											
	できるだけ時差通勤・時差通学をする	42.8	43.2	42.4	44.8	39.5	44.3	41.7	43.7	50.4	39.2	38.8											
	モノを手作りする(手芸、リフォーム、DIYなど)	36.5	29.1	44.0	32.8	36.4	40.0	35.1	36.9	38.6	37.2	33.8											
	通信環境の整備や家電の購入など、家の中の環境を充実させる	36.5	35.4	37.7	43.6	40.6	37.9	31.3	30.5	39.8	35.2	34.6											
	できるだけテレワーク(在宅勤務)をする[有職者ベース]	32.7	35.0	29.2	31.8	34.0	30.3	32.9	36.8	43.2	27.1	27.0											
	副業を始める/検討する	29.5	30.1	29.0	43.6	40.2	28.3	23.5	15.1	33.4	28.4	26.8											
	投資や資産運用をする	29.4	37.6	21.1	36.1	31.1	28.5	26.0	26.9	34.0	27.4	26.8											
	外でお金を使わないぶん、普段より少し良いものを買う	28.6	27.8	29.4	32.0	30.1	27.2	27.6	27.2	29.2	27.2	29.4											
	フリマアプリ・ネットオークションで出品・販売をする	25.7	23.3	28.1	37.8	34.6	24.8	19.7	14.0	26.4	24.8	25.8											
	フリマアプリ・ネットオークションで購入をする	25.5	26.6	24.4	34.9	31.8	24.3	22.6	16.1	24.2	27.0	25.4											
	お店・団体を支援する	25.5	23.4	27.7	27.8	25.9	24.0	25.1	25.8	26.0	23.4	27.2											
	オンライン学習をする	24.5	26.5	22.6	36.9	26.2	24.5	19.1	18.3	27.4	23.6	22.6											
	就職・転職・起業をする/検討する	24.5	24.6	24.4	39.8	32.2	22.9	19.4	11.5	27.4	23.0	23.2											
	オンラインで飲み会や食事会をする	21.2	22.9	19.5	37.8	28.0	16.5	16.9	11.1	24.6	21.8	17.2											

■ 全体より5pt以上高い ■ 全体より10pt以上高い ■ 全体より5pt以上低い ■ 全体より10pt以上低い (%)

補足資料⑤ 来月力を入れたいこと(生活力点)

24項目中21項目が増加、生活への意欲は前向きに

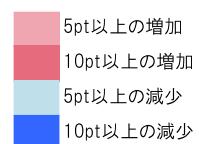
- ・新型コロナウイルス影響下で、来月(7月)生活のどのようなことに力を入れたいかをきいたところ、「睡眠・休息」(84.9%)、「健康」(82.3%)、「家族との交流」(71.7%)が上位に並びました。
- ・時系列で比較すると、6月調査では24項目中21項目が、5月の数値から増加しました。「睡眠・休息」「家事」「インターネットでの情報発信」など、5月調査時点ではあまり増加していなかった項目で増加が目立っており、4月調査時点と比べても生活行動全般への意欲が高まっている様子がうかがえます。

■ 時系列推移(全体ベース・2020年4-6月)

※「力を入れたい」「やや力を入れたい」回答率
()内は調査人数

	スコア			差分	
	4月調査 (1500)	5月調査 (1500)	6月調査 (1500)	4月→5月 pt	5月→6月 pt
睡眠・休息	74.9	72.1	84.9	-2.8	+12.8
健康	73.1	77.1	82.3	+4.0	+5.2
家族との交流	59.4	70.3	71.7	+10.9	+1.4
家事	55.9	57.5	71.1	+1.6	+13.6
食事・飲酒	55.8	68.5	70.1	+12.7	+1.6
買い物	44.1	63.7	67.7	+19.6	+4.0
趣味・遊び	44.9	67.7	66.5	+22.8	-1.2
貯蓄・投資	44.8	57.2	64.8	+12.4	+7.6
インターネットでの情報受信	43.1	47.1	63.5	+4.0	+16.4
マスメディアでの情報入手	53.1	47.1	61.1	-6.0	+14.0
エンターテインメント・コンテンツの鑑賞・閲覧	44.5	54.2	59.1	+9.7	+4.9
仕事	43.9	58.5	58.4	+14.6	-0.1
ファッショニ・身だしなみ	34.6	48.3	55.4	+13.7	+7.1
友人・恋人との交流	32.8	58.8	55.1	+26.0	-3.7
環境保護行動	29.8	37.9	55.1	+8.1	+17.2
美容	35.0	41.5	49.6	+6.5	+8.1
学習・教養	28.3	35.9	40.3	+7.6	+4.4
副業	25.2	30.5	38.0	+5.3	+7.5
インターネットでの情報発信	24.5	27.9	38.0	+3.4	+10.1
贈答	16.4	23.0	34.0	+6.6	+11.0
社会貢献行動	15.7	23.8	32.7	+8.1	+8.9
育児	25.2	25.7	31.9	+0.5	+6.2
地域社会との交流	14.8	26.4	30.5	+11.6	+4.1
介護	9.3	12.6	23.2	+3.3	+10.6

(%) (pt)



補足資料⑥ 来月力を入れたいこと(生活力点)

来月の生活意欲が高い女性と若年層

- ・新型コロナウイルス影響下で、来月(7月)生活のどのようなことに力を入れたいかをきいたところ、男女別でみると、「睡眠・休息」や「健康」「家族との交流」など24項目中19項目で、女性の数値が男性を上回りました。
- ・年代別では、「買い物」や「趣味・遊び」「貯蓄・投資」「副業」など幅広い項目で若年層が高く、中高年層で低くなる結果となりました。
- ・エリア別では、男女別・年代別ほど大きな差はみられませんでした。

■ 性別/年代別/エリア別の結果

※「力を入れたい」「やや力を入れたい」回答率
()内は調査人数

全体	性別		年代						エリア		
	男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代	首都 40km圏	名古屋 40km圏	阪神 30km圏	
(1500)	(755)	(745)	(241)	(286)	(375)	(319)	(279)	(500)	(500)	(500)	
睡眠・休息	84.9	79.2	90.7	83.8	87.8	83.7	85.6	83.9	85.0	84.4	85.4
健康	82.3	76.7	87.9	81.7	80.4	81.1	82.8	85.7	81.6	81.0	84.2
家族との交流	71.7	64.5	78.9	71.0	74.8	71.5	69.6	71.7	70.0	72.0	73.0
家事	71.1	59.3	83.0	73.4	75.5	70.4	69.0	67.7	71.0	67.4	74.8
食事・飲酒	70.1	62.0	78.4	73.0	72.7	68.8	70.2	66.7	71.8	65.6	73.0
買い物	67.7	61.2	74.4	78.4	68.2	68.3	64.6	60.9	65.2	66.0	72.0
趣味・遊び	66.5	67.4	65.5	75.1	70.6	65.1	62.4	61.3	63.2	67.0	69.2
貯蓄・投資	64.8	64.1	65.5	74.3	74.5	69.9	59.6	45.9	64.0	64.0	66.4
インターネットでの情報受信	63.5	62.1	65.0	70.5	67.1	63.2	62.7	55.2	64.2	62.0	64.4
マスメディアでの情報入手	61.1	55.5	66.7	59.8	64.3	55.7	64.6	62.0	60.0	61.8	61.4
エンターテインメント・コンテンツの鑑賞・閲覧	59.1	57.0	61.3	75.1	68.5	52.3	54.2	50.5	60.8	54.4	62.2
仕事	58.4	62.8	54.0	67.6	61.5	62.1	61.1	39.1	61.0	57.6	56.6
ファッション・身だしなみ	55.4	43.0	67.9	66.0	64.7	52.5	52.0	44.4	55.8	54.4	56.0
友人・恋人との交流	55.1	51.0	59.3	71.4	63.6	48.3	48.9	48.7	53.2	54.6	57.6
環境保護行動	55.1	47.0	63.2	50.2	52.8	53.9	60.8	56.6	54.8	53.2	57.2
美容	49.6	32.7	66.7	63.9	60.8	47.7	44.2	34.4	51.2	47.4	50.2
学習・教養	40.3	40.8	39.9	53.9	43.4	42.1	35.1	29.0	40.4	37.8	42.8
副業	38.0	35.6	40.4	55.6	53.5	36.8	32.0	15.4	39.0	38.0	37.0
インターネットでの情報発信	38.0	38.8	37.2	51.9	43.0	32.5	34.8	31.9	37.6	38.8	37.6
贈答	34.0	28.9	39.2	42.7	42.3	29.3	27.9	31.2	32.2	33.4	36.4
社会貢献行動	32.7	31.8	33.6	36.1	36.0	30.4	33.2	28.7	33.0	30.8	34.2
育児	31.9	31.3	32.6	30.7	51.4	41.1	18.5	16.1	28.0	34.2	33.6
地域社会との交流	30.5	30.1	31.0	28.2	36.4	29.9	31.0	26.9	28.6	30.0	33.0
介護	23.2	24.0	22.4	24.1	23.1	20.5	24.1	25.1	22.8	22.0	24.8

■ 全体より5pt以上高い ■ 全体より10pt以上高い ■ 全体より5pt以上低い ■ 全体より10pt以上低い (%)

補足資料⑦ 新型コロナウイルス収束後も必要だと思う社会制度

最も高いのは「出入国者の管理・許可の厳格化」

- 今後、新型コロナウイルス感染への懸念がなくなったとしても、充実化・習慣化が必要だと思う社会制度について聞いたところ、最も高かったのは「出入国者の管理・許可の厳格化」(86.5%)でした。次いで「テレワーク」(84.5%)、「時差通勤」(83.7%)の順となり、15項目中この3項目が8割を超えるました。

15項目全てで「女性>男性」、「時差通勤」「押印廃止」は首都圏で高い

- 男女別でみると、15項目全てで女性の数値が男性より高くなりました。特に「テレワーク」「時差通勤」「副業」など仕事に関する項目、また「ソーシャルディスタンス」「置き配」など物理的な距離に関する項目で差が大きくなっています。
- エリア別では、「時差通勤」「押印廃止」について首都圏と名古屋圏の差が大きくなっています。

■ 性別/年代別/エリア別の結果

※「必要だと思う」「やや必要だと思う」回答率
()内は調査人数

	全体 (1500)	性別		年代						エリア		
		男性 (755)	女性 (745)	20代 (241)	30代 (286)	40代 (375)	50代 (319)	60代 (279)		首都 40km圏 (500)	名古屋 40km圏 (500)	阪神 30km圏 (500)
出入国者の管理・許可の厳格化	86.5	81.7	91.4	82.6	86.0	88.0	86.8	88.2	87.4	84.8	87.4	
テレワーク	84.5	79.1	89.9	86.7	86.4	83.7	85.6	80.3	87.8	80.8	84.8	
時差通勤	83.7	78.5	89.0	82.6	81.1	84.8	84.0	85.7	89.2	78.2	83.8	
オンライン診療	75.8	72.3	79.3	77.6	75.9	77.1	74.9	73.5	79.8	73.8	73.8	
オンライン授業	75.7	72.1	79.5	81.3	74.5	76.5	76.2	70.6	77.8	74.0	75.4	
マスク着用の接客	75.3	71.0	79.6	76.8	76.2	78.1	76.5	67.7	76.8	74.8	74.2	
ソーシャルディスタンス	75.0	68.9	81.2	71.4	78.3	76.0	78.1	69.9	75.2	74.4	75.4	
押印廃止	72.8	72.6	73.0	70.1	71.3	74.4	73.7	73.5	78.4	66.6	73.4	
置き配	71.3	64.9	77.7	74.7	76.2	72.3	71.5	61.6	75.8	68.6	69.4	
感染者追跡アプリへの位置情報提供	70.1	66.4	73.8	64.7	69.9	68.5	74.9	71.3	68.8	69.0	72.4	
時短営業	66.7	60.1	73.3	63.1	69.2	67.5	67.7	64.9	70.0	63.0	67.0	
飛沫防止用ビニールシート	64.7	59.2	70.3	64.7	67.5	62.7	70.2	58.4	66.2	63.6	64.4	
店舗や施設に入る際の検温など体調確認の厳格化	63.7	60.4	67.1	64.7	65.0	65.1	64.9	58.4	65.2	63.8	62.2	
副業	63.5	58.1	69.0	73.0	72.0	68.0	59.9	44.8	65.4	66.0	59.2	
9月入学	43.3	38.4	48.3	42.7	40.6	43.2	41.7	48.7	42.4	42.0	45.6	

■ 全体より5pt以上高い ■ 全体より10pt以上高い ■ 全体より5pt以上低い ■ 全体より10pt以上低い (%)

(%)

■ 質問項目(質問文)

[新型コロナウイルス影響下での生活自由度]

新型コロナウイルス感染拡大以前の普段の状態を100点、
感染拡大により極めて不自由を強いられる状態を0点とすると、
あなたの現在の暮らしの自由度は何点くらいでしょうか。(0~100点の数値を回答)
また、あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

[新型コロナウイルス影響下での意識・行動]

新型コロナウイルス感染拡大を受け、次のような意見があります。
それについて、あなた自身のお気持ちや行動にもっとも近いものをひとつずつお答えください。
(単一回答:あてはまる/やあてはまる/あまりあてはまらない/あてはまらない)

[新型コロナウイルス収束後の行動意向]

今後、新型コロナウイルス感染への懸念がなくなったとしても、あなたは次にあげるような行動をすると思いますか。
それについて、あなたご自身の予想にもっとも近いものをひとつずつお答えください。
(単一回答:すると思う/時々すると思う/あまりしないと思う/しないと思う)

[来月力を入れたいこと(生活力点)]

来月(7月)、あなたは次にあげる生活行動にどの程度力を入れたいですか。
各項目ごとに、あてはまるものをひとつずつお答えください。
(単一回答:力を入れたい/やや力を入れたい/あまり力を入れたくない/力を入れたくない・自分にはあてはまらない)

[新型コロナウイルス収束後も必要だと思う社会制度]

今後、新型コロナウイルス感染への懸念がなくなったとしても、あなたは次にあげるような項目について、
社会の環境や制度・仕組みが充実したり、習慣化することなどが必要だと思いますか。
それについて、あなたご自身のお考えにもっとも近いものをひとつずつお答えください。
(単一回答:必要だと思う/やや必要だと思う/あまり必要だと思わない/必要だと思わない)

調査時期	2020年6月4日(木)～8日(月)
	2020年5月7日(木)～11日(月)
	2020年4月2日(木)～6日(月) = 政府の緊急事態宣言前
	2020年3月5日(木)～9日(月)

調査地域	①首都40km圏(東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県) ②名古屋40km圏(愛知県・三重県・岐阜県) ③阪神30km圏(大阪府・京都府・兵庫県・奈良県)
-------------	---

調査対象者	20～69歳の男女
対象者割付	調査地域①～③各500人を各地域の人口構成比(性年代)に合わせ割付
サンプル数	合計1,500人

<4月・5月・6月調査>

	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	122	145	190	161	137	755
女性	119	141	185	158	142	745
合計	241	286	375	319	279	1500

<3月調査>

	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	124	147	190	154	140	755
女性	119	143	186	150	147	745
合計	243	290	376	304	287	1500

調査方法	インターネット調査
-------------	-----------

調査機関	株式会社 H.M.マーケティングリサーチ
-------------	----------------------

<参考>

第2回調査(5月21日発表) <https://www.hakuhodo.co.jp/news/newsrelease/81663/>
第1回調査(4月20日発表) <https://www.hakuhodo.co.jp/news/newsrelease/81047/>

<備考>

本調査は当面の期間実施し、毎月第3・4週頃に発表する予定です。
(今後の状況変化により、調査内容等を変更する可能性があります)

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社博報堂 広報室 玉・大野 koho.mail@hakuhodo.co.jp 03-6441-6161